

遊具の下には古墳時代の遺跡が眠る
⑥「豊島馬場遺跡公園」



工場跡地だったこの場所から100基以上の古墳時代前期の方形周溝墓が確認され、日本最古のガラス小玉の鋳型も出土しました。

地元の人々から「紀州さま」と呼ばれる神社
④「紀州神社」



鎌倉時代後期、紀州熊野から来た鈴木重尚が豊島氏とはかり、五十太郎神社を王子村に勧請したのはじまり。水の神様として知られている。

江戸時代の春と秋の行楽六阿弥陀詣のお寺
③「西福寺」



江戸時代、春と秋のお彼岸に六体の阿弥陀像をまつた6カ所の寺を巡る「六阿弥陀詣」が盛んだった。西福寺は六阿弥陀第一番の寺。

あの渋沢栄一が設立
 王子は紙の発祥の地
①「洋紙発祥之地碑」



明治6年に渋沢栄一が「抄紙会社」を設立し、製紙工場を作ったのが日本の洋紙の始まり。



青いカバの下に遺跡があるかも…
 この下に「あるかも!」

中世の豪族・豊島氏ゆかりの寺
⑤「清光寺」
 周辺の地名にもなっている中世の豪族・豊島清元(清光)が建立したと言われている寺院。本尊の不動明王像は行基に彫らせた豊島七仏の一つと伝えられている。

歴代のお札と切手がスラリ展示
②「お札と切手の博物館」
 平成23年3月、新宿区市ヶ谷からここに移転。展示や様々な体験装置にチャレンジしてお札と切手の技術に触れ、歴史をたどる博物館。

つんと突き出た地形はまさに…
⑪「天狗の鼻」
 隅田川が蛇行して流れているこの地域はまるで「天狗の鼻」のように上に突き出ている地形になっていてこの名がついた。

隅田川で鴨がキチンと整列してのんびり川下り

黄緑色のアーチの橋
⑮「小台橋」
 以前は渡し船で移動

首都高速より上を走る
⑭「日暮里・舎人ライナー」
 荒川沿いを歩くとき先には首都高速の上を走り荒川を渡る日暮里舎人ライナーが見える。

古墳時代から人々が暮らし続ける 隅田川沿いの街

今回の探検は王子駅前をスタートして北区、足立区、荒川区の隅田川沿いを散策します。古墳時代の遺跡が出土した公園、地名にもなった豪族ゆかりの寺院、春と秋のお彼岸に巡る「六阿弥陀詣」の寺院など史跡も数多く、隅田川に架かる様々な橋を巡るのどかな川沿いの散策は、秋の行楽にぴったりのコースです。いざ、出発進行!

王子
 小台

隅田川を見ながら芝生でのんびり休憩
⑨「新田さくら公園」
 昨年10月に開園した隅田川に面した公園。眺めのいい「芝生ひろば」は足立区内一の広さ。「多目的広場」や「いきものふれあい広場」など楽しいエリアがいっぱい。

新田の「新」と豊島の「豊」で
⑩「新豊橋」
 平成19年に完成した新しい橋。優秀な橋に贈られる「土木学会田中賞」や「グッドデザイン賞」など数々の賞を受賞している。

昔はこの堤防が高潮や洪水を守っていた
⑫「隅田川旧防潮堤」
 以前、隅田川周辺に整備されていたコンクリートの直立堤防(カミソリ堤防)の一部を記念として保存。

橋が架かる前は「六阿弥陀の渡し」があった
⑬「豊島橋」
 足立区宮城と北区豊島を結ぶ橋。橋が架かる前は、天狗の鼻周辺から「六阿弥陀の渡し」があり六阿弥陀詣の人々で賑わっていた

今回の探検コースは
約8km

●このパンフレットのデータは2011年9月現在のものです。●ウォーク中のケガ・事故等については責任を負いかねます。